

# 手描友禅

# その技を知る。

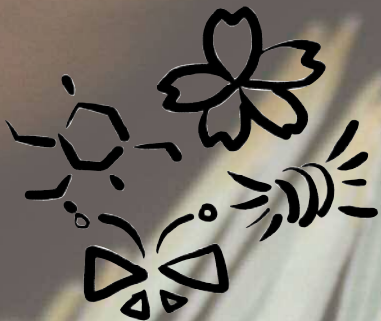
## 1 画題決め

お客さんの注文に合わせて決めていきます。もちろん、着物になつたときの優雅さ、美しさを意識しながら考えていきます。伝統工芸品と言われているので、そういうのを意識しながらいけないと思いますが自由なデザインもやはり大切です。着物の画題ではよく蝶や花を見ますが、私が見たものだとお客さんの思い出を画題にしたものなどありました。



## 2 構成、下絵

最も時間がかかる作業らしいです。たくさん花などを組み合わせて構成していく、実際に下書きを見せてもらいましたがびっちり描かれて、余計な線が一本もなかったのが印象的です。プロの技ですね。石渡さんはオリエンタル模様（唐草模様などのこと）などが得意なそうです。しかし、ここまでの作業には別種がないという情報か。



## 3 絹に下絵、縁取り、色塗り

ライトテーブルを利用して絹に下書きを透かしてムラサキツユクサの汁で下書きをする。このときにはじめの意匠を修正されるらしい。そして縁に基づいて縁取り、絵の具を塗る（顔料も使う）そして刺繍をし（この作業は石渡さんはやらない）、金箔を貼る。これらの工程を見るには強が必要です。



## 4 完成

完成した生地を仕立屋さんに仕立ててもらって完成です。ここまでの作業にはやはり天候などが関わるので時間がかかるそうです。友禅の画題にも時代があり、前は蝶が人気だったそうですが、今は花が人気です。日本の伝統の一つでもあり、現代の流行にも敏感なんて不思議です。



→ お客さんの注文、手描りの生地です。  
→ 画題は唐草模様、手描りの生地です。

高校を卒業したら成人式がとても近いです。男性はスーツの方が多いですが、女性には振袖を着る方が多数いらっしゃるでしょう。私もよく振袖の写真を見て蝶、花、魚甲、嵐斗目などたくさん柄があり魅了されます。そもそもその柄はとうやうと柄が刺さっているものか知っていますが、これから振袖を着る人、着物を着る人などいるはずですよ。今川その石渡さんの手描き友禅の工程を紹介したいと思います。これを見てテキストの道に進みたい人には是非読んで欲しいです。（冊子「匠の世界職人物語」を参考に制作しました）

## 手描友禅とは。

17世紀後半、京都の絵師、宮崎友禅齋から生み出された染め方の一種。今では加賀友禅、江戸友禅（石渡さんはコレです）、京友禅と3種類ある。

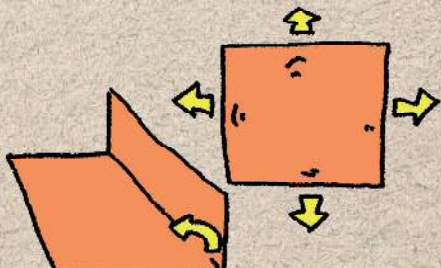
江戸になり友禅が盛んになったのは、豪華な刺繍や錦綾が施された呉服が禁止になり、そんな中町人たちは華やかな中にも落ち着きのある友禅を親しんできたからである。

今ではコンピューターを使って描かれているものもあるが、手描きの場合、花びら一枚、一枚まで気持ちが入ってあり、その絵師の気持ちが伝わってくる。

友禅の特徴と言えは模様周りのにできるきれいな白の縁取りですね。模様が浮き立ち、光っているように見えるのが面白いです。

友禅の生地は着物や振袖に使われていると思いますが、他にドレスや財布の生地にも使われています。見せていただいた財布の柄がとても可愛くて「コレ、欲しいです!!!いくらですか?」と聞いて「ふふ、かなりお高いよ。」と、石渡さんの奥さんに言われたのが印象深く残っています。そのお高い財布を買える立派な社会人に育ちたいです。いつか、買いに行きますので取り置きお願いします。

「板金は金属を伸ばしたり、折り曲げたりして色んなものを製作するんだ。僕が調べたのは建築板金なんだ。」



「建築板金はよく見かけるトタン屋根や雨水をためるのに使われているね。熟練の人だと一目見ただけでそのものの大きさにピッタリあうように作るんだよ。」

「え、そんなことが出来るの!?!」

こう子ちゃん、またまたびっくりです。

「決めた! 私将来、板金もヘラ絞りも出来る職人になりたいわ!!!」

「それは欲張りすぎないか?」

次回もこう子ちゃんは新たな発見を探しにいきます。



「でも、私は幅広く多くのモノを作ってみたいわ…。私ヘラ絞り出来るようになりたい…。」

そのとき、こう子ちゃん目のあるものがとまりました。



「コレ、金属で出来たちりとりだ。」

よく見ると狂いがないようにきっちり作られています。

「あ、コレが板金の技術で作られたものだよ。もう芸術の作品みたいだね。」



## あなたの発見を募集中!!!

こう子ちゃんがあなたの発見をもとに探検しにいきます!

詳しくはこう子ちゃん公式ホームページへ↓

<http://www.koukotyantabimonogatari.jp/07/07kon> (これは架空のURLです。実際には存在しません。)

今回の探検物語はアユさんの発見を元に描きました。

# こう子ちゃんの探検物語

こう子ちゃんは川崎に住んでる女の子。

今日は友だちが今調べている金属ヘラ絞りと建築板金は街のどこにあるのか探しにいくお話です。



「大きいものから、小さいものまで。最近だとステンレスのコップとかもそうだね。アンテナもそうだし、ポウルもそうだね。」

「そんなに幅広くやっているんだ…。」

こう子ちゃんはびっくりです。



「あ、アレは?」

早速見つけたようです。それは公園などで見かける街灯です。「あれのどこに使われているの?」

「あれにはヘラ絞りが使われているんだ。金属を球体みたいな形状に曲げていくんだ。」



「僕が見たとき全身を使って加工してたよ。とても力のいる作業だし、精密さも大事。大変そうだったなあ…。」

友だちは遠い目で語っています。



## 「カレーライス」

田中さんのところで実際に作らせていただきました。ご飯粒も一つ一つできおり、最初見たとき「何故本物のコメを使うんだろう・・・」と考えてしまったほどリアルでした。カレーは半固体で形を整えることに苦戦したのは今でも覚えています。本物と違う手順でつくるので途中でごんがりそうです。よく晩ご飯がカレーの日に机に置いてみると「ああ、もうカレーが出来たのか。」と間違えて食べそうになります。(つかさサンプル (作らせて頂きました))



## 「枝豆」

キーホルダーです。中の豆が二つ入りと、三つ入りがペアでとても可愛いです。小さいのでガチャガチャしなく、ちょうどレンズにも当たらないのでカメラにつけています。皆、枝豆の方を見るのでカメラの写りが多くなりました。質感もリアルで触り心地もぼちちです。これで近所のお祭りとかに行くと小学生にベタベタ触られ、黒く汚れそうなのが不安です。(つかさサンプル)

## 「今週のお菓子」

限定のケーキです。柔らかく、甘酸っぱくて美味しかったです。私がベリー系のモノが好きなのもあるかと思いますが、口の中ですぐに溶けちゃうので「もっと食べたいなあ・・・。」と一口一口食べる度に考えてました。上にのっているブルーベリーの色と全体の色とのコントラストが素敵で、これを撮っていると弟から「くれよん、くれよん」と言われ続けました。あげずに全部私がいただきました。(マリアツェル)



## 「ショコラプリン」

最初見たとき「あ、格好良い」と思いました。最初デザートなんて思ったら段々甘くなり、プリンというよりムースみたいな感じで一口一口の味がとろとろでしっとりしていてチョコ好きにはたまらない一品だと思います。私の分しか買いませんでしたが、家族に送ると気に入るでしょう。お勧めです。(マリアツェル)

# 可愛いを食べよう

# 可愛いを作ろう



お菓子だけが可愛いと思いませんか。  
お菓子だけじゃなく枝豆までも可愛くしてしまう職人がいます。  
それは「食べられない」という条件を引き替えに、  
「可愛く飾れる」という特別な魔法をかけてくれます。

お菓子をもっと可愛く出来ると思いませんか。  
お菓子を作るときに可愛くする魔法をかける職人がいます。  
一つ一つの調味料にこだわって  
あまりの美味しさに皆が笑顔になってしまいます。

「食品サンプル」  
「洋菓子」

今回はその二つを美味しく食べ、飾りましょう。